



国立大学リスクマネジメント情報

2012(平成24)年1月号

<http://www.janu-s.co.jp/>

特集テーマ

国大協保険の保険金支払概況

国立大学法人総合損害保険は、国立大学がかかえる多くのリスクに対し保険を提供しています。その保険金支払状況をみれば、どのような事故が起こり、どの程度の損害が生じているのかを把握することができます。

本号では、平成16年4月から平成23年9月までの7年6ヶ月のデータを基に、その概要をまとめてみました。

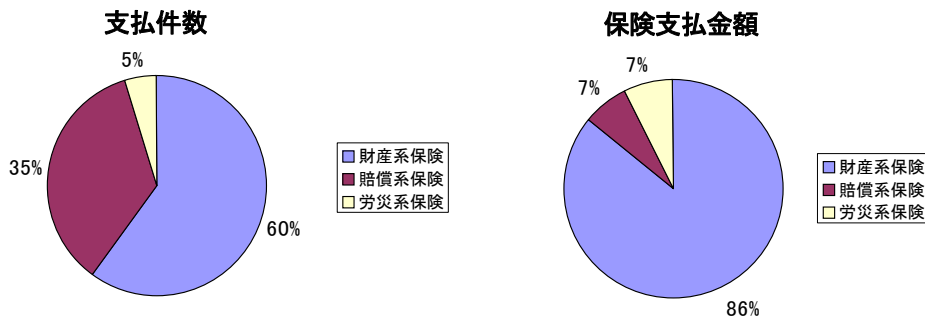
1. 保険種目別の保険金支払状況

国立大学法人総合損害保険は、メニュー1：財産系保険・賠償系保険・労災系保険、メニュー2：保健管理センターの賠償責任保険、メニュー3：役員の傷害保険、メニュー4：ヨットモーターボート保険の4つのメニューから構成されています。

そのうち、全ての国立大学法人・大学共同利用機関法人が加入しているメニュー1が大学全体のリスクを大きくカバーしている基本の保険です。ただし、地震・噴火・津波といった天災については、国の災害復旧費の対象となるため国大協保険の補償対象にはなりません。

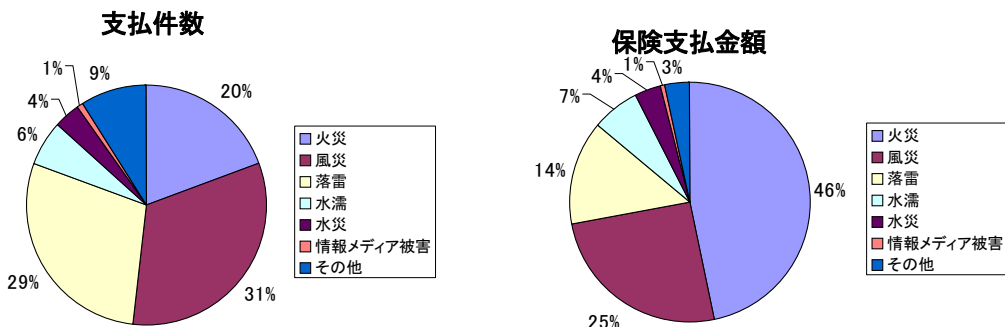
平成16年4月の国立大学の法人化以降、平成23年9月までの7年6ヶ月のメニュー1の保険金支払金額は約33億円、年平均約4億4千万円となります。

これを財産系保険、賠償系保険、労災系保険の種別で見ると以下のとおりとなります。



件数では、「財産系保険」が60%、「賠償系保険」が35%ですが、支払金額では「財産系保険」が86%と支払金額のほとんどを占めていることがわかります。

財産系保険の内訳を見てみると、件数では、「風災」「落雷」が約30%、火災が20%の順ですが、保険金支払金額では、「火災」が約半分を占めています。

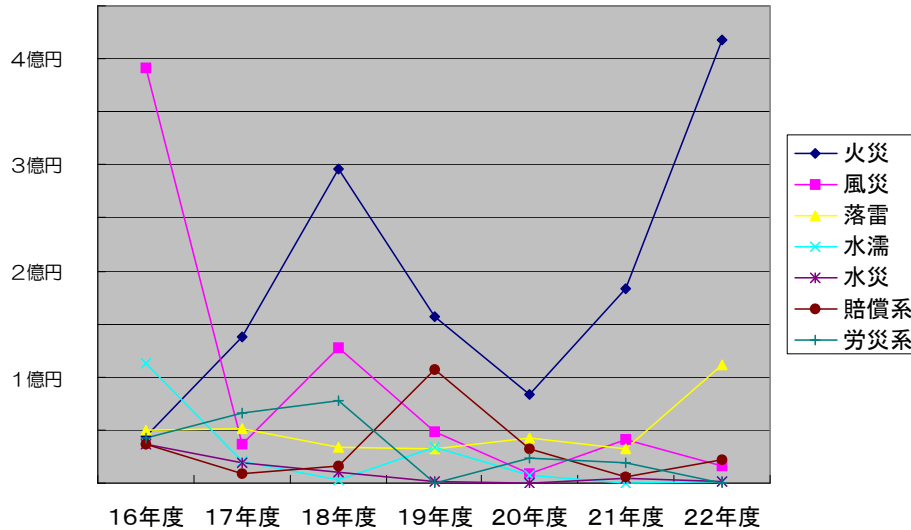




2. 年度ごとの保険金支払金額

年度ごとの保険金支払金額をみると、主に台風の被害である「風災」はその年の気候に大きく左右されていることがわかります。平成16年は台風被害がとても多かった年で、国大協保険制度のスタートから保険の役割を大きく果たしたといえます。

その他の原因については、高額保険金の支払事故が発生した年は大きく跳ね上がっています。



3. 原因別の特徴

1) 火災

<高額保険金支払事故例>

年度	概要	保険金支払金額
22年度	A大学工学部研究室の火災。	196,917千円
19年度	B大学作業ハウスから出火。脱穀場、牛舎等が全焼。	143,633千円
22年度	C大学農学部研究室の火災。	119,710千円
21年度	D大学工学系研究科研究室の火災。	92,273千円
20年度	E大学工学部実験棟の火災。	59,426千円

火災の場合には、建物自体の被害よりも、高額の実験機器が煙、煤、消火剤等により被害を受けることによって損害が大きくなっています。

2) 水濡れ

<高額保険金支払事故例>

年度	概要	保険金支払金額
16年度	A大学病院3階配管が破裂し水濡れ。CT等機器被害。	109,652千円
16年度	上記による休診の収入補償。	2,758千円
19年度	B大学臨床研究棟配管から漏水。下階実験機器が被害。	15,753千円

水濡れの場合も、下階にあった高額の機器が被害を受け被害を大きくしています。



3) 台風、雷

<高額保険金支払事故例> 台風

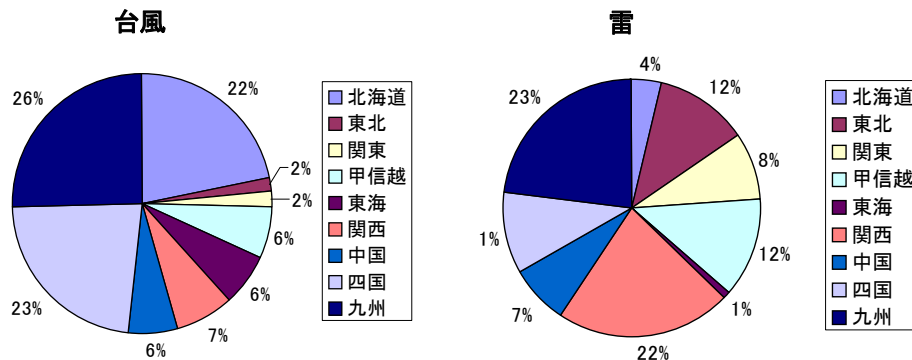
年度	概要	保険金支払金額
16年度	台風18号によるA大学構内建物等の被害。	52,728千円
18年度	台風13号によるB大学構内建物等の被害。	28,961千円
16年度	台風によるC大学構内建物、屋根等の被害。	28,830千円
18年度	台風13号によるD大学観測施設の被害。	26,818千円
16年度	台風によるE大学構内建物、ガラス等の被害。	25,511千円

<高額保険金支払事故例> 雷

年度	概要	保険金支払金額
22年度	落雷によるA大学防災監視盤、警備装置等の被害。	57,710千円
22年度	落雷によるB大学電設基盤の被害。	23,961千円
16年度	落雷によるC大学電設基盤等の被害。	14,143千円
21年度	落雷によるD大学変圧器の被害。	13,815千円
17年度	落雷によるE大学建物設備、備品の被害。	11,839千円

台風の場合は、台風が襲来回数により被害が多い年、少ない年の差が大きくなりますが、雷の被害はほぼ平均しています。(前頁2. 参照)

地域別に見てみると、台風による被害は九州、北海道で多く、雷の被害は関西、東北、甲信越で多く発生しています。



※各地区に所在する国立大学の建物・動産の保険価額に対する保険金の支払割合を比較。

なお、台風、雷被害ともに国の災害復旧費の対象となるものが多いため、該当する場合には、申請を行ってください。

4) 情報メディアの被害

<主な保険金支払事故例>

年度	概要	保険金支払金額
19年度	コンピュータウイルスの侵入によるA大学病院のパソコン等の被害。	16,006千円
18年度	B研究機関のサーバー2台が不正アクセスにより被害。	1,052千円
16年度	C大学パソコンの盗難によるプログラム損失。	760千円

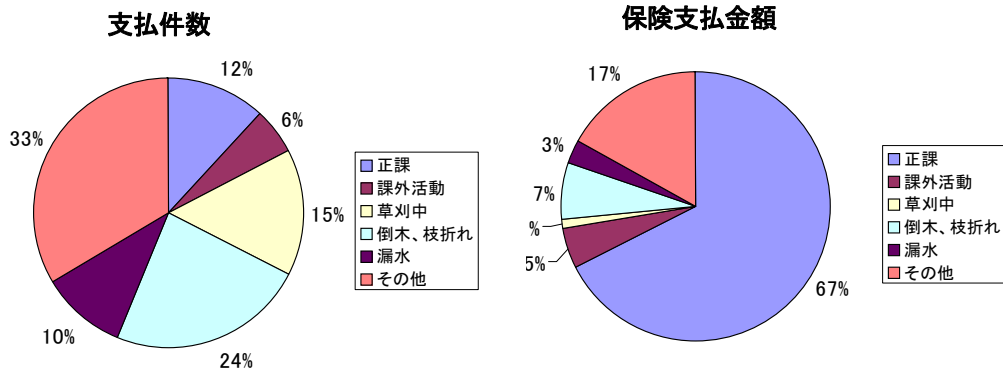
コンピュータウイルスの侵入により病院のパソコンが感染し大きな被害を受ける事故が発生しています。



5) 賠償系事故

賠償系の保険を代表するメニュー1の総合賠償責任保険の保険金支払事故を原因を見ると、実験・実習等の正課中の事故よりも、草刈中の石の飛び出しによる人や車両の傷つけ事故、倒木や枝折れによる人や車両の傷つけ事故、寮や宿舎の配管からの漏水による入居者財産の損傷事故が多く起きていることがわかります。

ただし、保険金支払金額を見ると、圧倒的に正課中の事故が高額の支払い事故となっています。小額の事故については学生教育研究災害傷害保険（学研災）の支払により、賠償事案化が抑制されていると考えられます。



6) 労災系事故

国大協保険の労災系の保険は、政府労災の上乗せ補償として大学が行う法定外補償で払われる補償金を保険でお支払するメニュー1労働災害総合保険が主なものです。

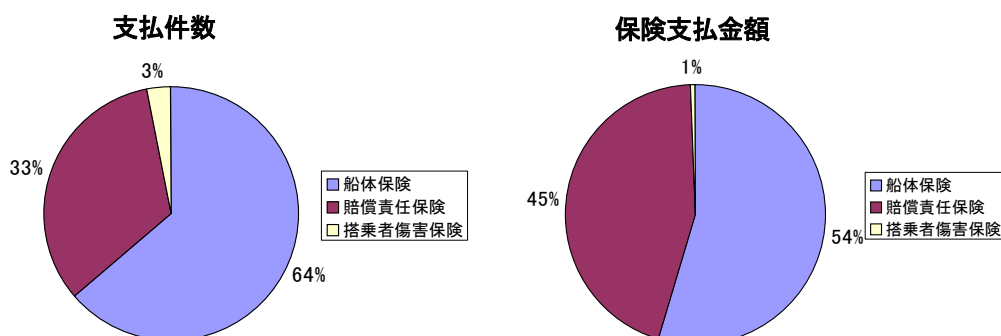
その保険金支払状況を見てみると、毎年、2～3件の死亡災害が発生しており、その原因も自殺や過労によると思われる心臓疾患、脳出血が含まれています。実験や野外での研究・調査の安全確保のほか、心身の健康状態の把握と健康管理・指導が大切であるといえます。

4. ヨット・モーターボートの事故

国大協保険メニュー4（ヨット・モーターボート総合保険）は、大学が所有するヨット・モーターボートに関する事故を補償する総合保険で、これらを所有する全ての国立大学が加入しています。

この保険は、国大協保険創設から2年遅れた平成18年度に創設され、平成23年9月までに約1,500万円の保険金をお支払しています。

保険金の支払状況を見ると、自動車保険の車両保険に相当する船体保険の支払が件数、支払額ともに賠償責任保険よりも多くなっています。





リスクマネジメントの現場

全学自由研究ゼミナール「環境・安全と安心の科学」

東京大学教養学部で行われる前期課程教育の講義は、大きく基礎科目、総合科目、主題科目の3つに分けられますが、主題科目は少人数のゼミ形式で行われるものが多く、その内容に応じてテーマ講義、全学自由研究ゼミナール、全学体験ゼミナールという3つに分けられます。

全学自由研究ゼミナールのひとつに「環境・安全と安心の科学」という科目が平成22年度から開設されています。

このゼミナールは、我が国の将来を担う次代層が幅広く環境・安全の分野に興味をもち、安心へとつながる道筋を自分で考えることができるレベルになで到達することをサポートすることを目的とし、文系・理系を問わず教養学部1年次の後期に開設されています。

今年度の講義テーマは以下のとおりです。

- 1 環境・安全と安心の社会的・科学的位置づけ
- 2-1 安全リテラシー
- 2-2 リスクマネジメント
- 3-1 放射線・原子力の安全
- 3-2 化学物質の安全
- 3-3 生物・バイオの安全
- 3-4 感染症・環境と健康
- 4-1 体験型講義（安全に関する実験）
- 4-2 身近な環境問題、安全・安心の事例研究
- 5-1 地球環境問題を科学する
- 5-2 防災を科学する
- 5-3 大学の安全を科学する
- 5-4 大学における事故事例を斬る

各講義では、そのテーマの理解を深める具体的な課題や論点が提示され、その対処法等について受講生が意見交換やグループ討議を行い、実践的な理解を深めることができるようにされています。

事故事例 廃液処理(2009)

- ・ 廃液を入れる古いポリタンクが見つかった。中には数リットルの廃液が入っている。内容物に関するメモを探したが、見当たらなかった

- ・ あなたならどうしますか？



事故:
さらに廃液を追加し、1週間後に廃液タンクから発煙

Division for Environment, Health and Safety, Univ. Tokyo

グループ討論

- ・ 以下の点について議論してください。

- なぜ今回の事故が起こったのか。
- ほかにどのような事故や問題が起こる可能性があるか。
- 事故防止のためにどのような対策が必要か。

(ポイント)

- さまざまな立場で考える。
国、メディア、地域住民、大学、学部、研究室、
管理責任者、本人
- キーワード: 知識・技術・モラル・センス

Division for Environment, Health and Safety, Univ. Tokyo

皆さんの大学でも、学生、教職員に対するリスクマネジメント、安全、防災に関する積極的な取り組みがありましたら、弊社までご連絡ください。



2011/12月

大学リスクマネジメント News PickUp

<大学の管理・経営>

- ◆12.4 ○大は、大地震などに備え、学生ら計8000人の飲み水3日分を確保できる耐震性貯水槽を設置。
- ◆12.15 ○大の前学長らのグループによる研究の会計処理が、大学の監査で不適正だと指摘されていたことが報道。機器を年度末に大量発注していた他、高額な機器購入を、入札せずに購入するなどしていた。
- ◆12.19 難民として日本で暮らすイラン国籍の男性が、国籍を理由に○大の原子炉工学研究所への入所を拒否されたのは不当な差別だとして大学を訴えた訴訟で、地裁は入学不許可決定を無効とする判決。
- ◆12.26 ○大を雇い止めた元教員助手が地位確認などを求めた訴訟で、大学が1年間だけ再雇用するとした和解が成立。

<入試等ミス>

- ◆12.1 ○大は、11月に実施した推薦入試の小論文試験で出題ミス。
- ◆12.16 ○大歯学部卒の卒業試験で得点操作が行われ歯科医師になるのが遅れたとして、元学生が大学や当時の歯学部長らに計2520万円の損害賠償を求めた訴訟は、大学が解決金800万円を支払うことで和解が成立。
- ◆12.19 ○大は、10日に実施した推薦入試で、選択肢中に正解がない出題ミス。

<事件・事故>

- ◆12.21 ○大のキャンパスで現金を盗んだとして、窃盗罪で起訴された被告が、今年2月以降、16の大学や大学病院に侵入し、現金計480万円を盗んだと供述していることが報道。
- ◆12.21 ○大キャンパスの建物を結ぶ連絡通路の下で、男子学生が死亡しているのが発見された。連絡通路の手すりには乗り越えたような形跡があり、飛び降り自殺を図った可能性。
- ◆12.26 ○大工学部に、「硫化水素をばらまくぞ」といった脅迫文が届き、学生らが校舎の外に一時避難。異常は見つからず悪質ないざづらと見て、警察は「威力業務妨害」も視野に脅迫文を調査。
- ◆12.27 ○大医歯学総合病院は、医師が肝細胞がん手術を行った患者2人に、適切な経過観察をしなかったためがん再発の発見が遅れる医療事故があったと発表。血液検査は定期的に行っていたが、CTによる画像診断はしなかったという。

<情報漏えい>

- ◆12.27 ○大は、学生連絡用のインターネット掲示板から、名前や追試の状況、授業料免除などの個人情報が出ていたと発表。掲示板開設時の設定ミスが原因で、5年間パスワードなしで閲覧できるようになっていた。

<ハラスメント>

- ◆12.13 ○大大学院の入試で、面接官の教授から罵倒されるアカハラを受けたとして、同大医学部の学生が、教授と大学を相手取り、慰謝料500万円を求め提訴準備。
- ◆12.16 学生へのパワハラやアカハラなどがあったとして、09年に○大を諭旨解雇された元教授が、「解雇は不当」として地位確認などを求めていた訴訟の控訴審で、元教授の訴えを棄却する判決。
- ◆12.21 ○大は、学外での研究会で指導学生を名指しで侮辱する発言をしたと、男性助教を戒告処分にしたと発表。

<学生・教員の不祥事>

- ◆12.2 ○大は教室整備で業者に約2170万円分を水増し請求させていたとして、男性職員を懲戒解雇したと発表。07年から10年の4回にわたり、電気設備業者に架空の見積作成を要求。水増分を別の業者を通じ受け取っていた。
- ◆12.6 ○大医学部の教授と元教授が、同大医学部から医師派遣を受けていた民間病院長から現金を受け取った収賄の容疑で書類送検されていたことが報道。
- ◆12.9 ○大は、学位論文などで他の研究者の論文を盗用していたとして助教の博士学位を取り消すと発表。
- ◆12.17 ○大は、学位論文に盗用があったとし、中国人留学生の修士の学位を取り消したと発表。
- ◆12.21 ○大は、扶養手当など144万円を不当に受け取っていたとして、男性准教授を戒告処分にしたと発表。
- ◆12.22 ○大は、同大の行事で撮影した写真の中から、女性の太ももアップを撮ったものが数枚見つかったとして、男性職員を出勤停止5日間の懲戒処分にしたと発表。
- ◆12.27 ○大は、非常勤職員が、現金368万円を私的流用したとして懲戒解雇処分にしたと発表。

配信について

本誌は、各国立大学・大学共同利用機関の国大協保険ご担当者、国大協連絡登録先、ご登録いただいた方にメールで配信させていただきます。（無料）配信登録、解除は弊社ホームページからお願いします。⇒<http://www.janu-s.co.jp/>

情報提供のお願い

各大学等でのリスクマネジメントに関する取組み、事故・事件への対応のご経験、ご感想、ご要望等をお寄せください。
⇒ info@janu-s.co.jp

バックナンバー

- 11.12月 ◆損害賠償の法的基礎
 - 11.11月 ◆保健管理センター等での医療行為
 - 11.10月 ◆学生・教職員の安否確認
 - 11.9月 ◆エレベーターの事故への対応
 - 11.7月8月 ◆震災から学ぶリスクマネジメント
 - 11.6月 ◆パワーハラスメント
 - 11.5月 ◆震災と損害保険等の適用
 - 11.3月4月 ◆震災被害、支援活動と保険適用
- ※弊社ホームページからダウンロードできます。

発行 有限会社 国大協サービス
東京都千代田区神田錦町3-23

協力 株式会社インターリスク総研
三井住友海上火災保険株式会社